

レポートって どう書くの？

1. レポートってなに？
2. レポートを書いてみよう
3. 参考文献リストを作ろう

国際文化学部1F ラーニングコモンズ

講師・主催 神戸大学附属図書館

附属図書館 協同学修シリーズ



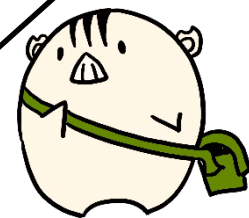
神戸大学附属図書館
マスコットキャラクター「うりこ」

1.1. 大学ではこんなレポート課題が出る！

- 授業・フィールドワークを通じて学んだ事からを基に、ESD（持続可能な社会づくり）の実現に向けて、自分たちが何をすべきかについて考えを述べなさい。
- 国際紛争が予防されたり解決された事例をとりあげ、その政策に関して論じなさい。

単なる感想ではダメなんだね...

事例に基づきつつ、
課題に関して自分の考察を述べます。



1.1. 大学ではこんなレポート課題が出る！

こんな課題には、どう答える？

- 動物に権利を認めるべきか否かについて、あなたの考えを自由に展開しなさい。

自由な感想文でもいいのかな？



→単なる感想文ではダメです！

自分自身で事例を設定・調査し、
課題に関して自分の考察を述べます。

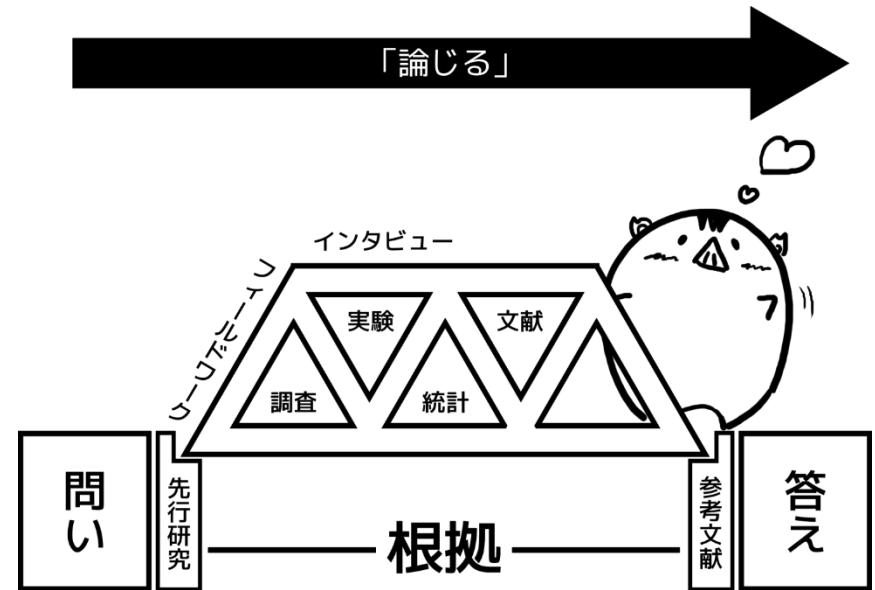
1.2. 感想文とレポートの違い

	感想文	レポート
内容	感じたことを <u>自由に</u> 。	「論じる」必要がある。
「型」 = 文章の構造	決まった型は ない。 <u>自由に</u> 。	相手に分かりやすく 伝えるための形式が ある。

1.3. 「論じる」とは？

論じるとは「＜問い＞を起こし、
それに対して＜根拠＞をともなった
＜答え＞を示すこと」

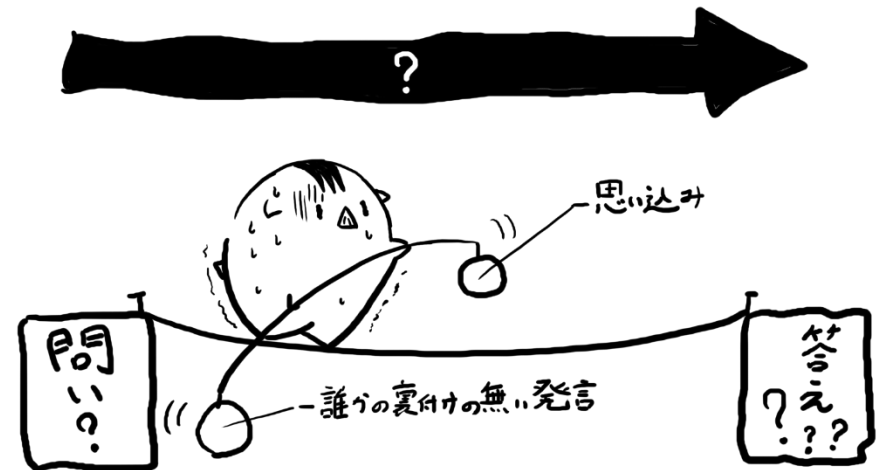
(渡辺 2013, p. 40)



じゅうぶんな裏づけのある根拠が必要！

説得力を持って「論じる」ためには、
「そこで使われている根拠じたいが
じゅうぶんな裏づけを
もっていなければならない」

(戸田山 2012, p. 151)



これでは全く説得力がない！

1.4. そしてレポートとは？

- **「論じる」ことが必要**

与えられた課題について「問い」を立て、文献調査等を経て「根拠」のある「答え」を示す。

- **ある程度決まった文章の構造をもつ**

論じている内容を相手に分かりやすく伝えるため、文章の「型」がある。

レポートのテーマは…

★学術的に ★絞り込んで ★明瞭に
(広げ過ぎない、あいまいにしない)

→ 「論じる」ことが楽になります

2.1. まずアウトラインを描いてみよう

(はじめに) 環境問題にはどんな事例があるだろう？
酸性雨 公害 異常気象 **環境破壊** 地球温暖化...

自分の身の回りにある事例

・ごみの不法投棄 ・騒音 ・タバコの受動喫煙 ・大気汚染...

自宅の近所では
ごみ問題が目立つ

化学的処理

ごみ問題を解決する方法は？

分別収集、リサイクル

地域の清掃活動、啓発・広報

社会活動

※今回のレポートでは
ここを取り上げる

特にペットボトルのリサイクルは
広く行きわたっている

リサイクルの方法

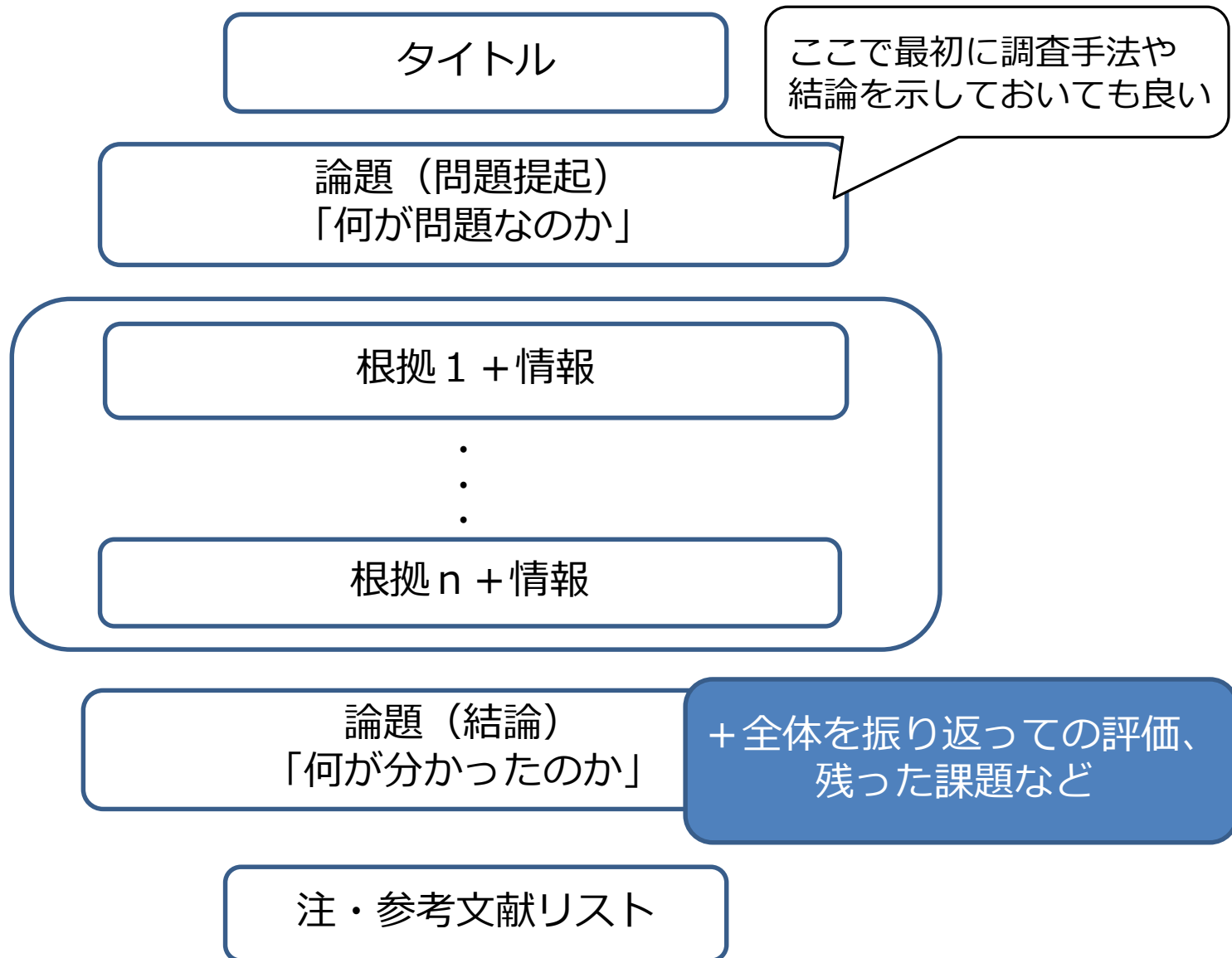
・リユース ・ケミカルリサイクル ・マテリアルリサイクル...

本当にリサイクルだけでごみ問題は解決するのだろうか？

・回収率の低さ ・コスト問題 ・資源の再消費...

ここに
統計データを挿入

2.2. レポートの形式に流しこもう



2.3. 文章化していこう

論題 (問題提起)

現在、神戸市においても身近な資源リサイクルの代表として、ペットボトルのリユース、ケミカルリサイクル、マテリアルリサイクルが広く実施されているが、その一方、回収率の低さ、コスト問題、資源の再消費など、様々な問題も顕在化してきている。

根拠1

こうしたペットボトル・リサイクルの現状と課題を把握するために、まず神戸市の取り組みについて確認しておきたい。データの根拠として、平成26年度『神戸市環境基本計画年次報告書』を参考にした。

+ 情報 1

「2-1 一般廃棄物の3Rを推進する」によると、26年度のごみ発生量635,592tのうち、容器包装プラスチックの資源化量は7,608tで、ごみ全体量の約1.2%であった。...

+ 情報2

また、回収ペットボトルの品質調査については、キャップが外されていないものが多いことなどから、神戸市の評価は平成21年度まで最低のDランクになっていたが、キャップとラベルを外すなど、ルールを守って出すよう、市民啓発に努めた結果、25年度には初めてAランクの評価を受けた。...

3.0. 参考文献リストを作ろう

他の文章や意見を、論文の中で引用・参照する場合・・・

★引用した部分を明示する

★注をつける

★参考文献で、出典（その文章の出所）を示す

上記のルールを守らず、剽窃（ひょうせつ）・盗用を行うと、
単位・学位の取り消しなど、重い罰則を科される場合があります。

×出典を示さずに引用

×無断で自分の見解であるかのように改変

→こうした行為は著作権法に違反します！



3.2. 参考文献リストの書き方

★本文

武田は、資源リサイクルの様々な矛盾点を指摘している。¹⁾ . . .
(略) . . . “しかし、廃棄されるペットボトルの量はリサイクルできる量以上に増加している。さらに、ペットボトルをリサイクルする機械を動かすのにも、莫大なエネルギー量を消費する。”²⁾

★参考文献

- ¹⁾ 武田邦彦 『リサイクル幻想』 (文春新書131) 文藝春秋, 2000, p.16
²⁾ 浅田静香 「捨てられたペットボトルの行方: ウガンダ・カンパラのリサイクル事業」 『アジア・アフリカ地域研究』 2014, 14(1), p.149

基本的には以下の項目を順番に記述しましょう。
書き方には様々なスタイルがあります。



図書—著者名・『書名』・出版者・出版年・引用ページ

論文—著者名・「論文タイトル」・『雑誌名』・出版年・巻号・引用ページ

→更に詳しくは...「参考文献の書き方・見方」

附属図書館HP> 学修サポート> ガイダンス資料> 参考文献の書き方/文献管理ツール

このスライドの参考文献

- 戸田山和久 (2012) 『論文の教室：レポートから卒論まで』 新版、日本放送出版協会
- 渡辺哲司 (2013) 『大学への文章学：コミュニケーション手段としてのレポート・小論文』、学術出版会
- 藤田節子 (2009) 『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』、日外アソシエーツ

